



2018年 7月3日  
神島化学工業株式会社  
代表取締役社長 池田和夫  
(証券コード:4026)

## 2018年4月期 決算説明資料 ～決算概要及び中期経営計画(ローリング)～



## I 2018年4月期 業績 2

- 1. 業績概要 3
- 2. 営業利益分析 4
- 3. セグメント別業績 5
- 4. 財政状態 8
- 5. キャッシュ・フローの状況 9

## II 中期経営計画（ローリング） 10

- 1. 計画概要 11
- 2. 2019年4月期 業績予想 12
- 3. 業績計画（ローリング後） 13
- 4. 化成品事業計画 14
- 5. 窯業系建材事業計画 17

## III 株主還元 20

- 1. 株主還元 21

## IV 補足資料 22

- 1. 当社について 23
- 2. テクニカルセンター建設 34
- 3. 原材料市況価格の推移 35
- 4. 環境への取組み 37

## 注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。



©2017 Konoshima Chemical Co., Ltd.

# 100年の歩み、100年の挑戦

## I 2018年4月期 業績

# I-1.業績概要

Konoshima Chemical Co., Ltd.

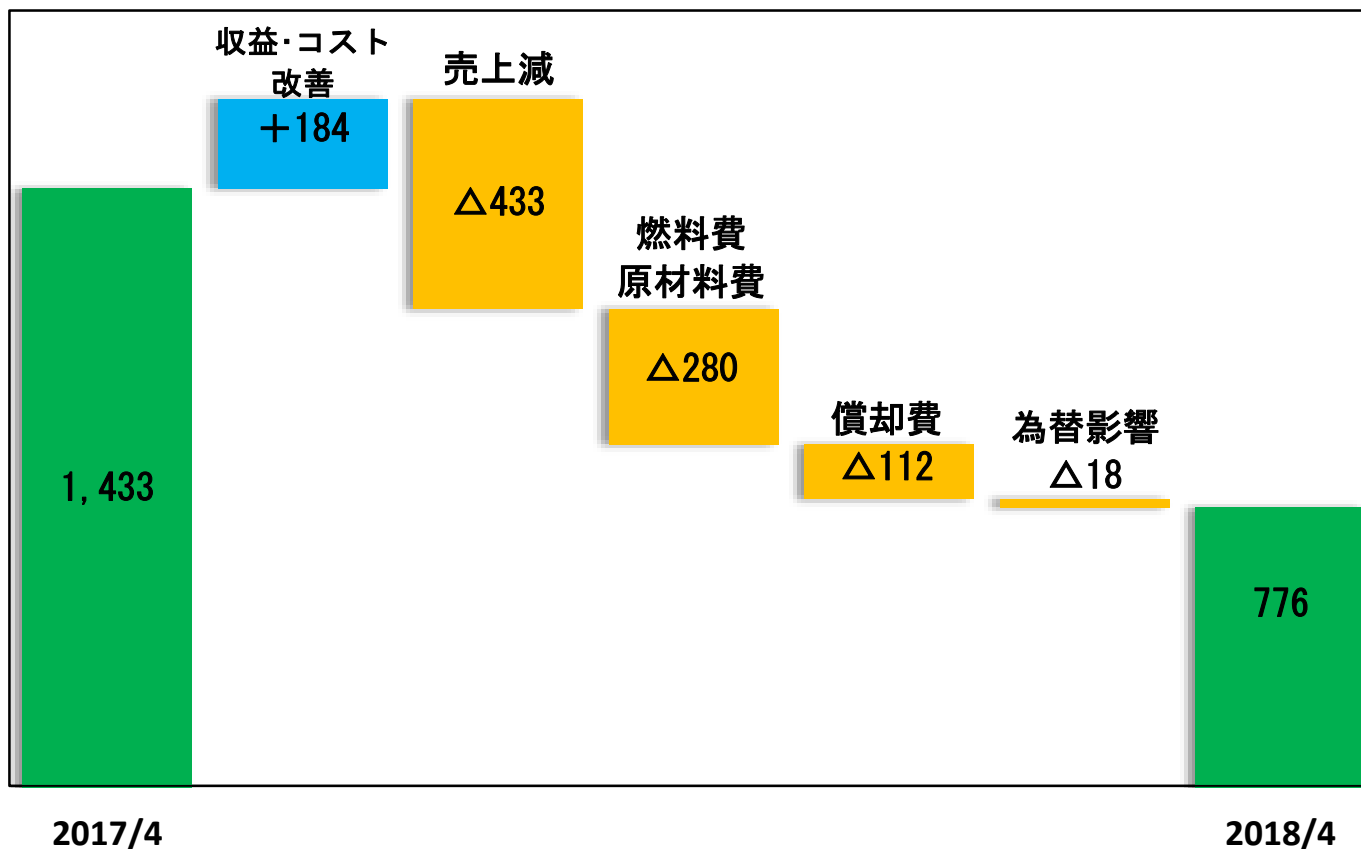
(単位:百万円)

	2017/4期 実績	2018/4期 実績	前期比		2018/4期予想 [2017.11.30]	予想比		
			増減金額	増減率		増減金額	増減率	達成率
売上高	22,629	21,604	△1,024	△4.5%	21,850	△245	△1.1%	98.9%
建材	16,084	14,858	△1,226	△7.6%	14,979	△120	△0.8%	—
化成品	6,544	6,746	+201	+3.1%	6,871	△124	△1.8%	—
売上総利益	6,718	5,815	△902	△13.4%	—	—	—	—
営業利益	1,433	776	△657	△45.9%	900	△123	△13.8%	86.2%
内 建材	632	197	△434	△68.8%	239	△42	△17.6%	—
内 化成品	1,421	1,200	△221	△15.6%	1,289	△89	△6.9%	—
経常利益 (経常利益率)	1,348 (6.0%)	700 (3.2%)	△648 —	△48.1% —	830 (3.8%)	△129 —	△15.6% —	84.4% —
特別損益(△損失)	△9	△64	△55	—	△199	+134	△67.4%	—
当期純利益	1,051	468	△582	△55.4%	470	△1	△0.3%	99.7%
減価償却費	882	995	+112	+12.8%	1,002	△6	△0.7%	—

- ◇ 住宅市場は、持家、貸家ともに減少傾向であり、やや低調に推移
- ◇ 売上高は、化成品事業において増産設備稼働により内・外ともに増収も、建材事業の前期末の詫間工場火災影響や採算性重視の施策強化、一部非住宅の物件後倒しにより、減収
- ◇ 特別損益の発生（特別損失は訴訟関連損失△1億63百万円等、特別利益は保険差益+1億28百万円）
- ◇ 尚、予想比では、売上高が建材・化成品ともに若干の下振れがあり、経常利益は84.4%の達成率

営業利益の増減要因（対前期比）

（単位：百万円）



- ◇ 営業利益は、収益・コスト改善にもかかわらず、売上減、燃料費・原材料費アップ、償却費負担増等により減益

(単位:百万円)

	2017/4期 実績	2018/4期 実績	前期比		2018/4期予想 [2017.11.30]	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	増減率
売上高	16,084	14,858	△1,226	△7.6%	14,979	△120	△0.8%
住宅売上高	13,005	12,261	△744	△5.7%	12,334	△72	△0.6%
内 高級軒天ボード	1,167	1,454	+286	+24.6%	—	—	—
非住宅売上高	3,078	2,597	△481	△15.6%	2,645	△47	△1.8%
(非住宅売上高比率)	19.1%	17.4%	—	—	17.7%	—	—
セグメント利益	632	197	△434	△68.8%	239	△42	△17.6%

- ◇ 前期末の詫間工場火災による影響や採算性重視の施策により住宅売上減収
- ◇ 住宅用高級軒天ボード(ラフォーレティンバー) は、大幅増収
- ◇ 非住宅の耐火パネルは、建築労働者不足による一部大型物件の後倒しにより減収
- ◇ セグメント利益は、売上減少、燃料の上昇等により減益
- ◇ 尚、予想比では、売上高は若干の下振れがあり、セグメント利益も未達

## ＜実績比較＞

(単位:百万円)

	2017/4期	2018/4期	前期比	
			増減金額	増減率
売上高	6,544	6,746	+201	+3.1%
内 海外売上高	2,914	3,062	+148	+5.1%
(海外比率)	44.5%	45.4%	—	—
セグメント利益	1,421	1,200	△221	△15.6%

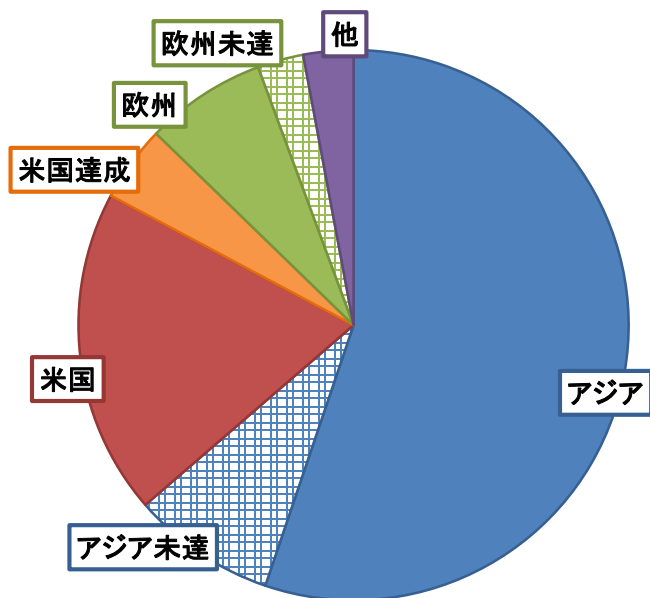
- ◇ 売上高は、米国向け医薬食添用酸化マグネシウムを中心に増収  
→輸出全体も増加し、海外比率も上昇
- ◇ セグメント利益は、売上増加やコスト改善はあったが、燃料費・原材料費  
アップや償却負担の増加等により減益

## <予想比較>

(単位:百万円)

	2018/4期		予想比	
	予想 [2017.11.30]	実績	増減金額	増減率
売上高	6,871	6,746	△124	△1.8%
内 海外売上高 ※グラフ	3,189	3,062	△126	△4.0%
(海外比率)	46.4%	45.4%	—	—
セグメント利益	1,289	1,200	△89	△6.9%

※予想海外売上高(網掛けは未達部分)



- ◇ アジアは予想比未達  
難燃水酸化マグネシウム製造設備  
メンテナンスにより販売調整
- ◇ 米国は予想比達成  
酸化マグネシウムの拡販



(単位:百万円)

	2017/4期末	2018/4期末	前期末比
現金及び預金	938	933	△4
売上債権	4,666	4,665	△0
たな卸資産	3,969	3,984	+15
建物、機械装置、建仮	5,932	6,269	+337
資産計	19,217	19,393	+175
仕入債務	3,467	3,150	△317
借入金	4,884	5,144	+259
負債計	12,771	12,635	△135
純資産計	6,446	6,757	+311
負債・純資産計	19,217	19,393	+175
(自己資本比率)	33.5%	↑ 34.8%	—

(単位:百万円)

	2016/4期	2017/4期	2018/4期	3期合計
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,790	2,272	1,070	6,133
税引前当期純利益	921	1,338	635	2,895
減価償却費	1,152	882	995	3,030
(小計)	2,074	2,221	1,630	5,926
売上債権増減(増:△)	451	△142	△4	305
たな卸資産増減(増:△)	△597	308	△15	△304
仕入債務増減(減:△)	466	54	△317	203
(小計)	321	220	△337	204
法人税等の支払	△26	△582	△280	△889
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,718	△1,484	△1,024	△4,228
固定資産の取得	△1,985	△1,494	△1,025	△4,505
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,177	△982	△50	△2,210
借入金純増減(減:△)	△1,040	△745	259	△1,526
配当金の支払	△73	△173	△247	△494
4. 現金・現金同等物増減(減:△)	△105	△194	△4	△304
5. 現金・現金同等物当期末残高	1,132	938	933	—



100年の歩み、100年の挑戦

## Ⅱ 中期経営計画(ローリング)

## ・中期的な事業環境認識

国内住宅建材業界は、中期的には、少子高齢化と人口減少により縮小傾向

## ・中期の経営戦略

### (1) 基本方針

成熟産業である「住宅分野」から、現有事業の成長産業である「化成品（マグネシウム）分野」への事業転換、及びアーリーステージの「セラミックス分野」の育成

### (2) 基本戦略

- ① 建材事業から化成品事業への業態変換
- ② セラミックス事業の本格的事業化
- ③ 住宅から非住宅へのエネルギーシフト
- ④ 住宅分野は、高級化路線

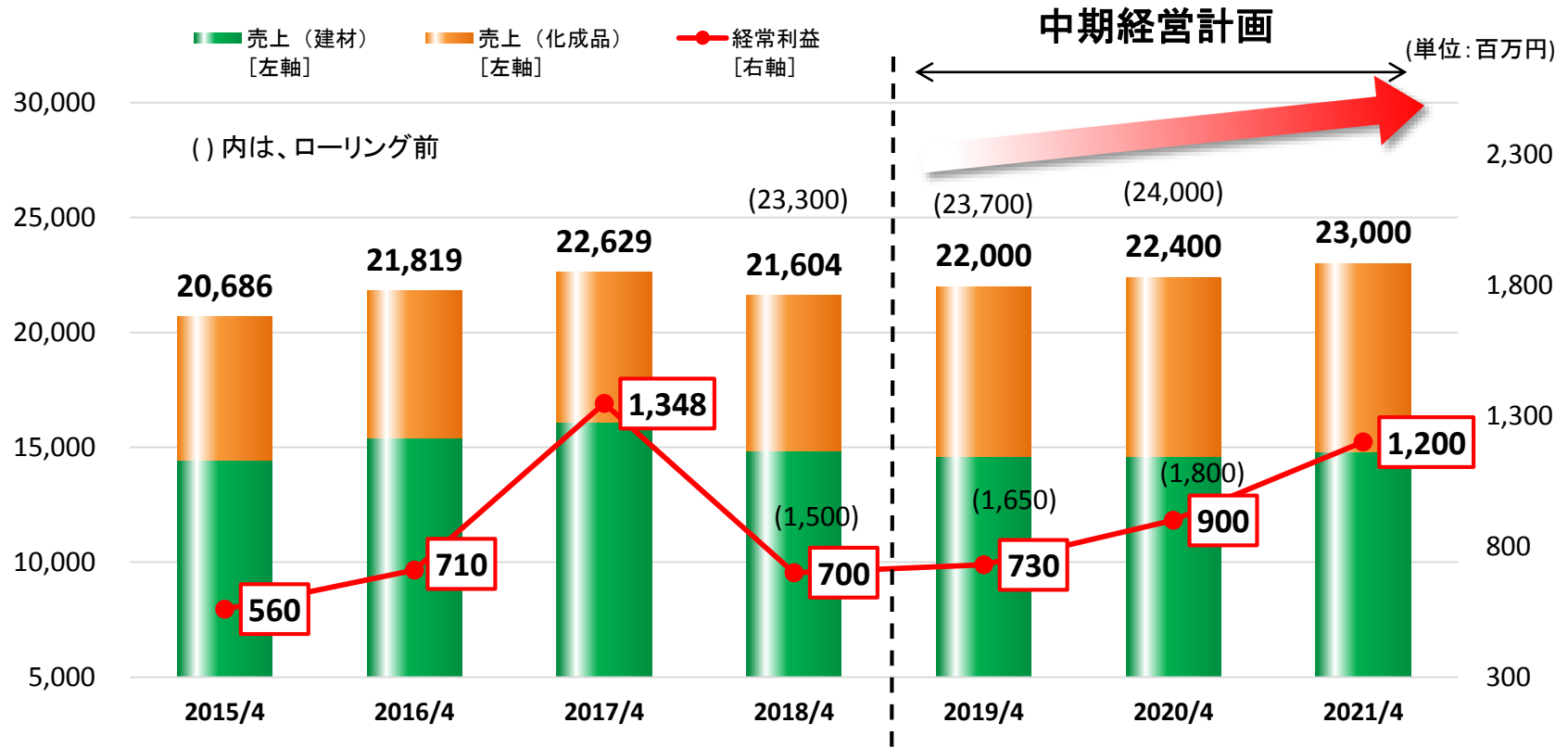
(単位:百万円)

	2018/4期 実績		2019/4期 予想		予想実績比	
		内 上期		内 上期	金額	増減率
売上高	21,604	10,679	22,000	10,900	+395	+1.8%
建材	14,858	7,319	14,600	7,400	△258	△1.7%
化成品	6,746	3,360	7,400	3,500	+653	+9.7%
営業利益	776	535	810	310	+33	+4.4%
経常利益 (経常利益率)	700 (3.2%)	500 (4.7%)	730 (3.3%)	280 (2.6%)	+29 —	+4.2% —
当期純利益	468	221	530	170	+61	+13.1%
減価償却費	995	489	1,067	517	+71	+7.2%
設備投資額	1,219	524	1,780	—	+560	+46.0%
配当(円/株) (配当性向)	24 (46.9%)	14 (57.8%)	20 (34.5%)	10 (53.8%)	△4 —	△16.7% —

- ◇当社建材事業の主要マーケットである住宅市場は、やや弱含みを見込む
- ◇かかる環境下、建材事業の売上高は、非住宅分野で耐火パネルの都市型高層ビル需要を取り込むも、住宅分野が採算性重視の戦略により減収を予想
- ◇他方、化成品事業の売上高は前期の一時的なアジア向けの販売調整がなくなり、更に輸出・新製品拡販による増収を予想
- ◇損益面は、原材料費の上昇や償却費負担増によるコストアップが見込まれるものの、売上高増加、採算性の向上等により増益

# Ⅱ-3.業績計画(ローリング後)

Konoshima Chemical Co., Ltd.



経常利益率	2.7%	3.3%	6.0%	3.2%	3.3%	4.0%	5.2%
自己資本比率	28.3%	29.1%	33.5%	34.8%	34.5%	36.4%	39.4%
総資産	18,253	18,936	19,217	19,393	20,640	20,790	20,800
純資産	5,159	5,515	6,446	6,757	7,160	7,600	8,260
設備投資額	1,097	1,423	1,646	1,219	1,780	1,100	1,100
研究開発費	549	623	690	689	700	715	720

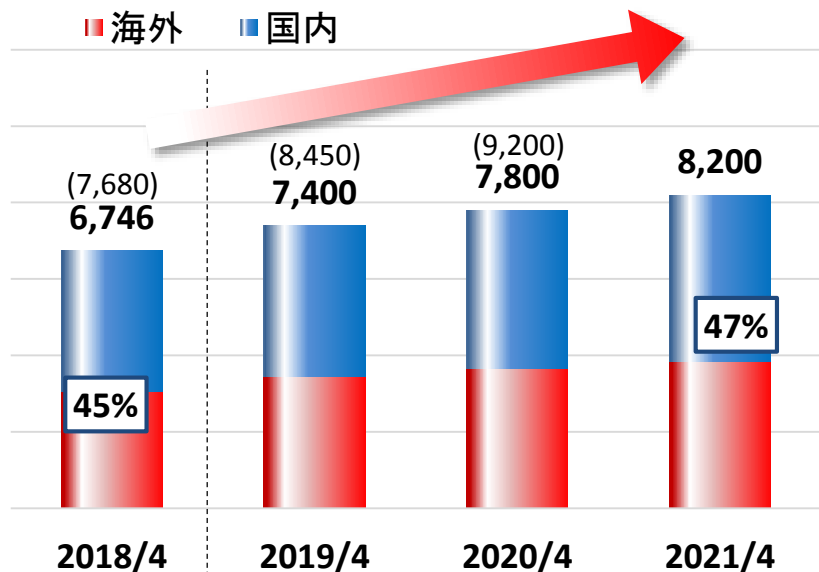
## ①化成品事業(マグネシウム)は引続き当社の成長エンジン

化成品事業売上

(単位:百万円)

(1) 海外売上高比率

■海外 ■国内



(2) 全体に占める化成品売上高比率

2018/4	2019/4	2020/4	2021/4
31%	34%	35%	36%
(33%)	(36%)	(38%)	

( )内は、ローリング前

《 中期計画のローリング 》

- ・当初計画より出遅れているものの、引き続き海外で酸化マグネシウムの拡販に注力
- ・更に、機能性新製品を新規市場へ投入
- ・海外売上高比率も約50%目標に・・・(1)
- ・全体に占める化成品売上高比率は、現状の3割から4割代へ拡大・・・(2)
- ・海外営業体制の更なる強化 (ダイレクトマーケティング・営業人員増員)
- ・将来へ向けての新技术の開発 (研究機関への人員派遣)



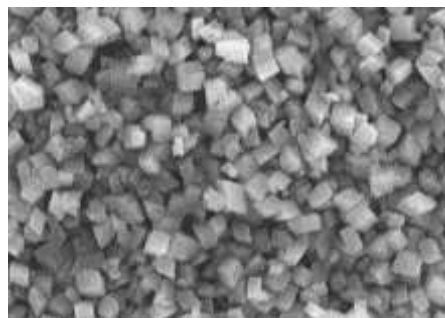
## 新たな機能性新製品の商品化

### 電子顕微鏡

### 使用用途例

#### 〔合成ベーマイト〕

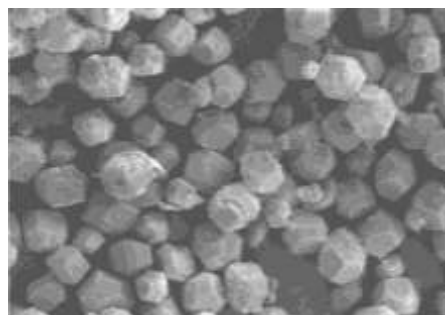
(特徴)  
耐酸性、耐アルカリ性



エコ電線、エンプラ部品

#### 〔合成マグネサイト〕

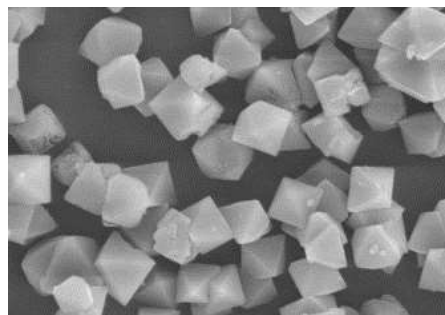
(特徴)  
耐熱伝導性



EV車エンプラ部品、放熱シート

#### 〔合成タイチャイト〕

(特徴)  
透明性維持



樹脂添加剤、研磨剤



## ②セラミックス事業は2019年4月期より本格的事業化へ

研究開発段階

事業化への準備

大量生産体制の構築

YAGセラミックス

Yttrium Aluminium Garnet  
(イットリウム・アルミニウム・ガーネット)

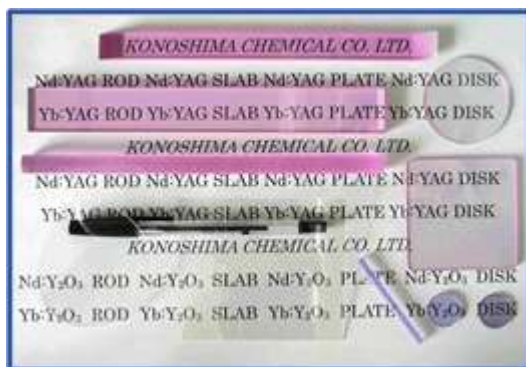
近年大型セラミックス使用の大出力  
レーザー開発が活発化。  
開発拠点の増加、  
高出力化による使用量の拡大

蛍光体

外部からのエネルギーを光に変換  
白色LEDをはじめとする照明や  
ディスプレイ等に使用

蓄冷材

マイナス269°C(4ケルビン)の  
極低温を維持  
医療機器MRI等の超電導磁石を  
用いる機器に使用

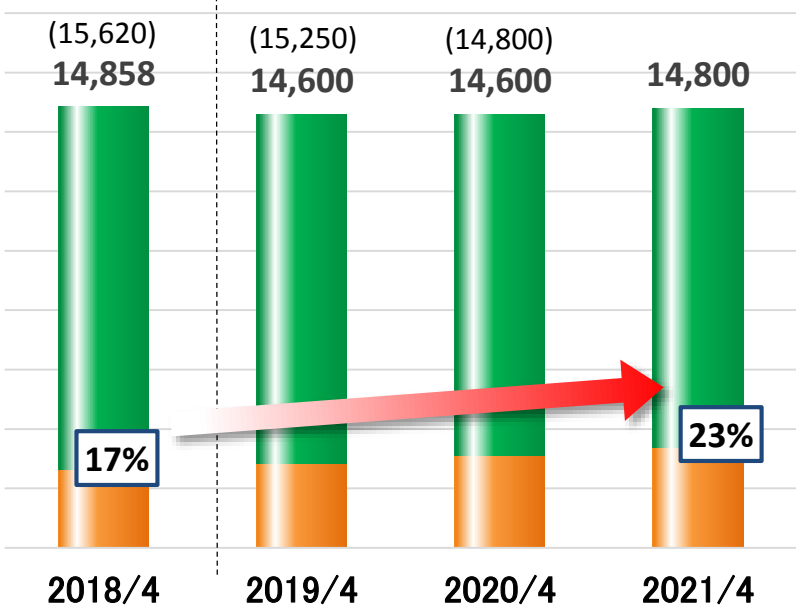


## ③住宅分野から非住宅分野（公共・商業施設等）へ転換

窯業系建材事業売上

■住宅 ■非住宅

(単位:百万円)



17%	19%	21%	23%
(21%)	(23%)	(25%)	
非住宅比率			

( )内は、ローリング前

### 《 中期計画のローリング 》

- ・ 非住宅比率は当初計画を下回るが、  
実額ベースでの拡大を企図
- ・ 強みを有する耐火パネルの都市型高層ビル等  
への更なる本格的取り込み
- ・ ラムダとの技術交流による新製品（遮音板）  
の拡販
- ・ ケイカル板の非住宅分野への販路拡大



## ④住宅分野は、採算性重視、高級化路線

- ・ 強みの軒天ボード・破風板は、  
高級品化（ラフォーレティンバー・ラフォーレグレイス）を更に促進  
⇒ 特に好評な高級軒天ボードは、新柄商品も加え、新工法も検討し、更に拡販
- ・ 収益商品であるプライケイカルの拡販へ注力
- ・ 防火サイディングは、採算性を重視した海外輸出に本格的参入



## 遮音板 重量衝撃音を低減



押出遮音板

重量衝撃音とは・・・

重くかつ柔らかい衝撃で、子供が飛びはねる時などに発生する振動  
主として中・低音域の遮断性能に関する音響性能

遮音板を施工することで、LH45※を達成

※JIS A1418 衝撃特性2における性能



©2017 Konoshima Chemical Co., Ltd.

# 100年の歩み、100年の挑戦

## Ⅲ 株主還元

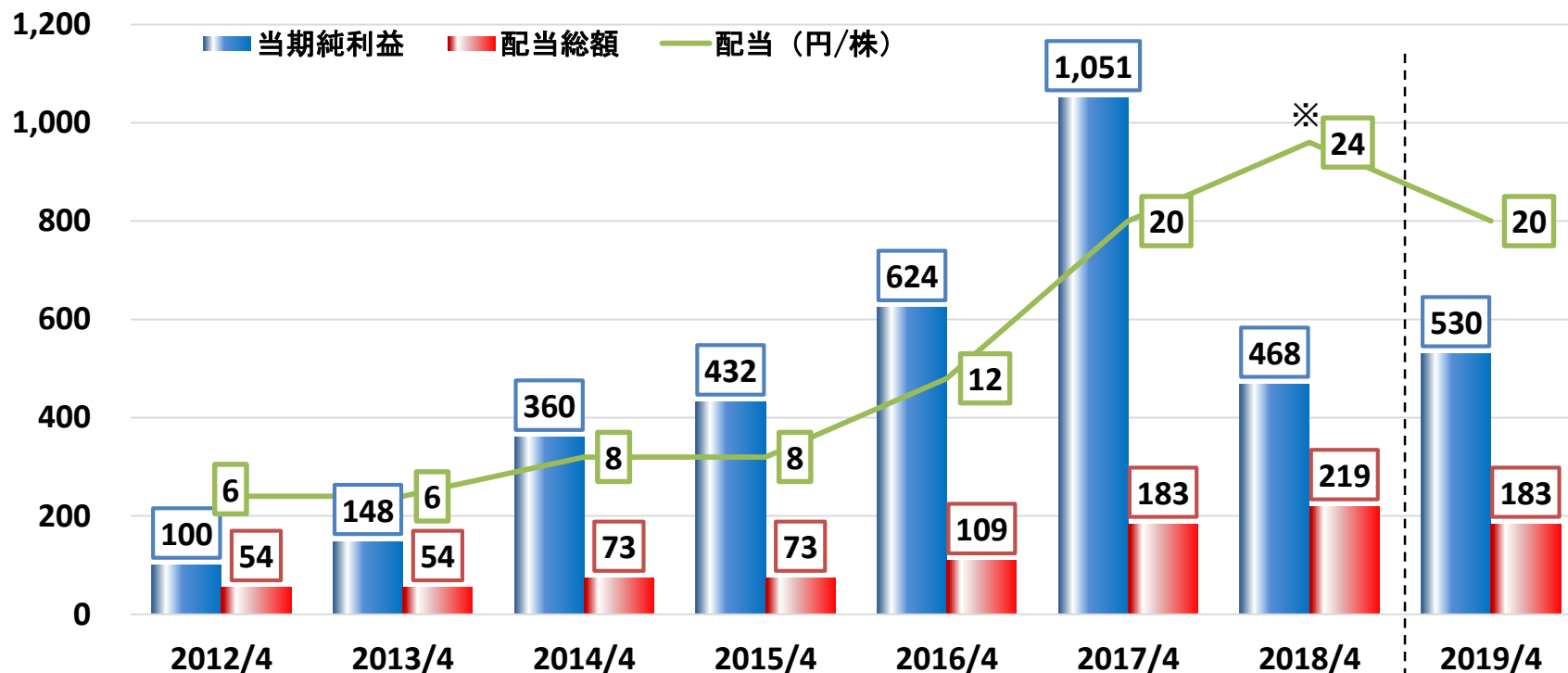
## ◆ 配当方針

- ・ 利益水準、配当性向及び内部留保の確保等を総合的勘案

## ◆ 配当予想

- ・ 2019年4月期は、年間配当20円を予想

(単位:百万円)



配当性向	54.9%	37.1%	20.4%	16.9%	17.6%	17.4%	46.9%	34.5%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※内4円は、創業100周年記念配当



©2017 Konoshima Chemical Co., Ltd.

# 100年の歩み、100年の挑戦

## IV 補足資料



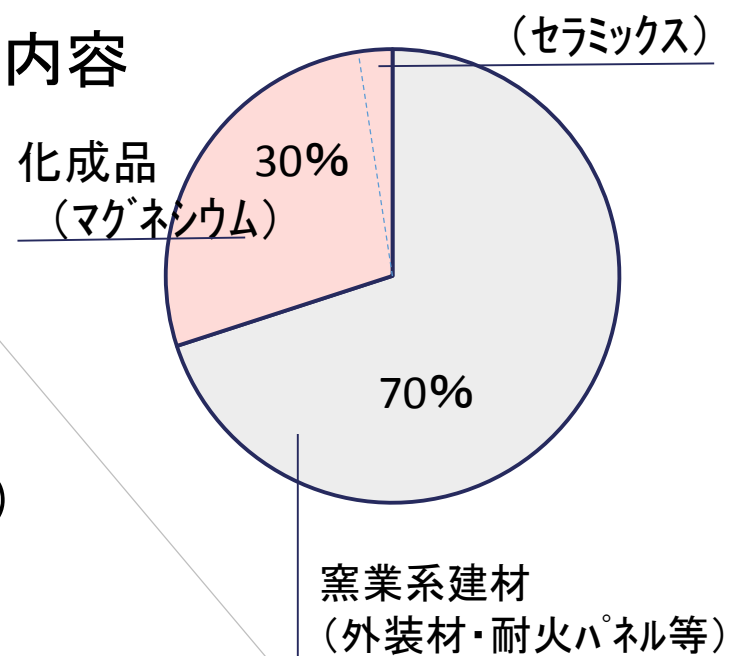
## 経営の基本方針

無機化学の可能性を追求し

**「顧客満足を第一に考え、  
より広く深く社会に貢献していく」**

創業 1917年6月  
設立 1946年3月  
資本金 13億20百万円  
従業員 624名  
売上高 216億4百万円（2018年4月期）  
代表者 代表取締役社長 池田和夫

### 事業内容





設立

1946年

1917年

創業 (株)神島硫酸製造所  
(後の神島人造肥料(株))



1949年

炭酸マグネシウムの製造を開始

1957年

酸化マグネシウムの製造を開始

けい酸カルシウム板の製造を開始

1972年



押出法による  
DRESSEの製造開始

1984年



1989年

科学技術庁無機材質研究所との共同研究で  
YAGの合成に成功 製品化に着手

硬質けい酸カルシウム化粧板  
SCELTEの製造開始

1998年



事業譲渡を受け、  
ラムダ事業を開始

2015年

2006年

難燃水酸化マグネシウムの製造開始

2017年

創業 100周年

現在



# IV-1.当社について【拠点】

Konoshima Chemical Co., Ltd.



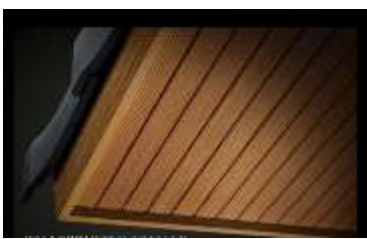
※ 平成30年5月1日現在

## ・住宅分野（外装）



不燃軒天ボード

木目柄、布目柄など多彩なバリエーションの  
軒天ボード  
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



不燃外部造作材（破風板）

寒冷地域の凍害にも強い「押出製法」の外部造作材  
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



防火サイディング

18mm厚以上に特化した深彫りで本物志向の高級外壁材  
職人の高齢化に対応した省施工「プレカット」対応



## ・住宅分野（内装）

SCELTE  
〈シエルテ〉



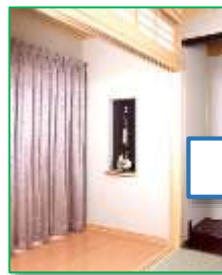
トイレ



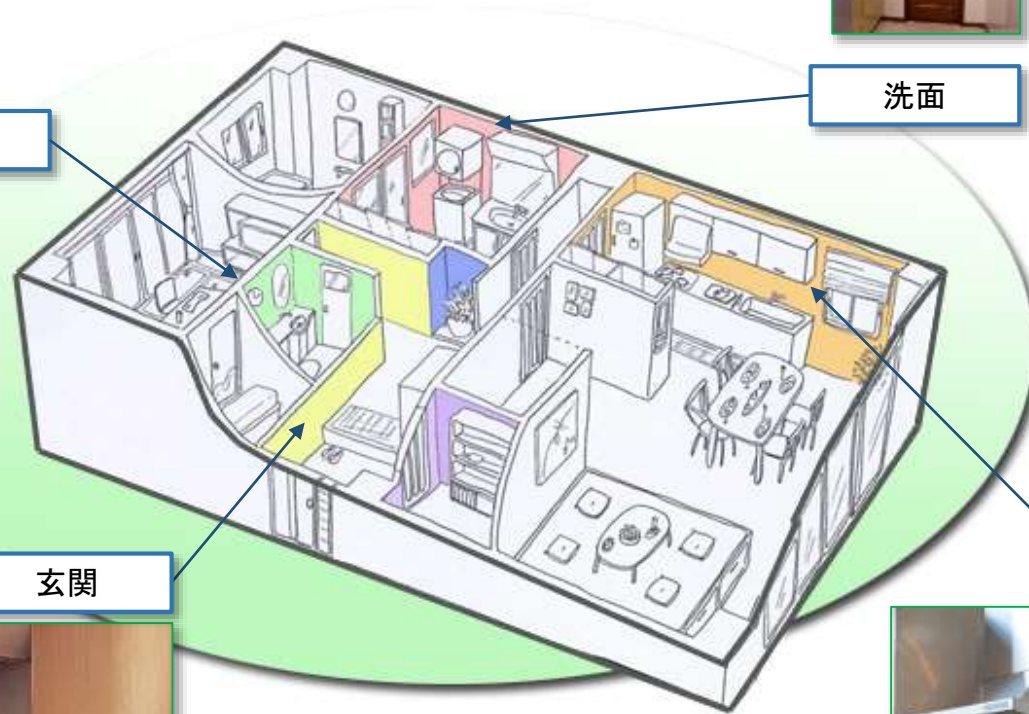
洗面



玄関



その他



キッチン



## ・非住宅分野(外装)

**LAMBDA** ラムダ

- ・ 高強度により、最高31mの中高層の建物にも対応
- ・ 塗装によりメタリックやパールの光沢感、コンクリートの風合



**DRESSE PREMIUM**  
〈ドレッセプレミアム〉

**DRESSE**  
〈ドレッセ〉



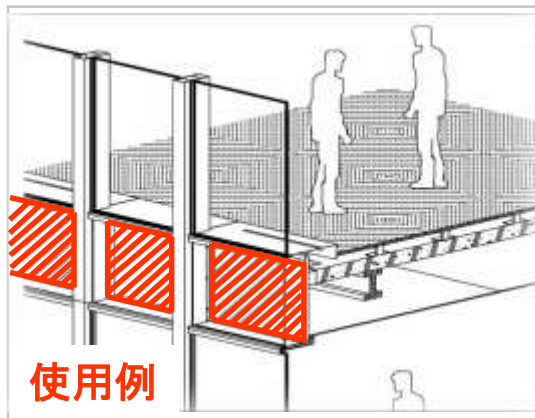
## ・非住宅分野(外装)

### ソニックライトパネルNAS

- ・中・高層ビルのカーテンウォール工法分野でシェア独占  
国内最大サイズのパネルを完全プレカット



虎ノ門ヒルズ



## (内装)



- ・表面の鏡面仕上げ、抗菌性の高い内装用化粧  
パネル完全な『ゼロホルムアルデヒド』ボード





「海水法」により、「安価」で「安定供給」可能  
粒子形状コントロール技術をマグネシウム化合物以外へ展開可能

## 使用用途例

酸化マグネシウム  
(スターマグ)



- ・プラスチック部品
- ・合成ゴム部品
- ・医薬用原薬、ミネラルサプリメント
- ・接着剤など



難燃水酸化マグネシウム  
(マグシーズ)



- ・エコ電線被覆材
- ・自動車・家電用電線被覆材など



炭酸マグネシウム



- ・天然ゴム製品
- ・プラスチック部品
- ・塗料、飼料など



## ＜海水法による製造工程の一例(酸化マグネシウム)＞

海水



精製



反応



洗浄



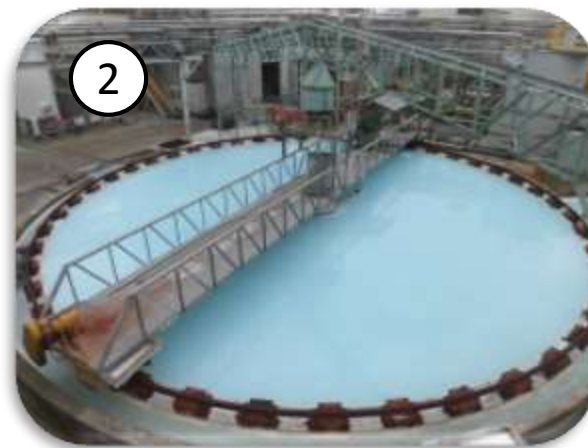
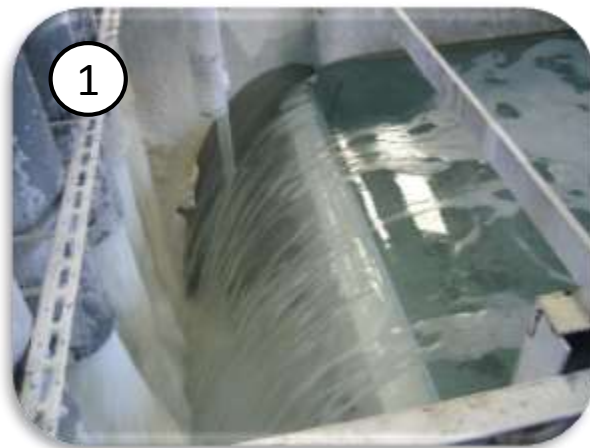
乾燥



焼成



製品



- ① 海水にアルカリを添加  
[ $\text{Mg}^{2+} + 2\text{OH}^- \Rightarrow \text{Mg}(\text{OH})_2$ ]
- ② 沈降分離槽で沈殿を回収
- ③ キルンで焼成  
[ $\text{Mg}(\text{OH})_2 + \text{熱エネルギー} \Rightarrow \text{MgO} + \text{H}_2\text{O}$ ]

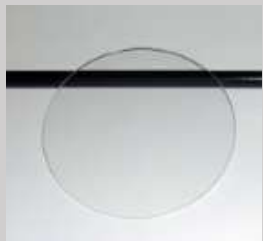
※2016年10月にキルンを中心とした増産設備を導入



## 世界初「透明・大型セラミックス」の開発に成功

### 使用用途例

#### セラミックス



レーザー加工機、レーザーセンサー、シンチレーターなど

#### レーザー核融合発電（慣性核融合発電）

レーザーで水素の核融合反応を起こさせて、エネルギーを取り出す発電システム。  
この研究開発は、当社のYAGセラミックスを使用



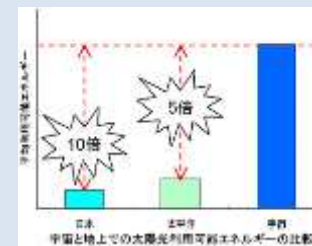
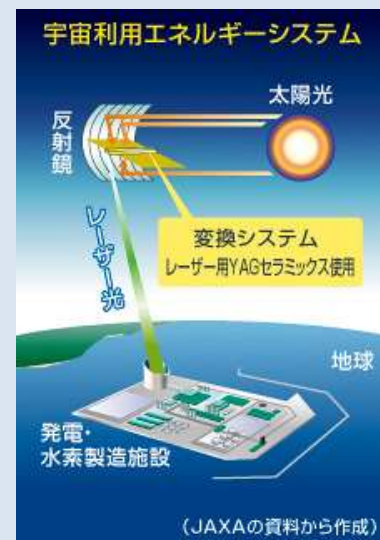
大出力レーザー用  
大型YAGセラミックス



大阪大学 レザ-科学研究所 右：ターゲットチャンバー 左：ビームライン

#### 宇宙太陽光利用システム（SSPS）

ミラーで集光した太陽光でレーザー媒質を励起させてレーザー発振させる。  
当社は、太陽光を効率よく励起させられるレーザー結晶の作製を、世界で初めて成功させた。（YAGセラミックス一部使用）



## レーザー研究に関する動向

世界は超高出力(10PW)・高繰り返し(10Hz)へ  
(セラミックスでしか到達できない領域へ)

### 世界の開発状況

#### ◆ 日本

大阪大学のレーザー科学研究所や国内メーカー数社などが、国家プロジェクト(内閣府、NEDO、JST)で開発。

#### ◆ アメリカ合衆国

Rochester大学やLivermore研究所で開発を進め、世界を牽引。

#### ◆ EU (欧州連合)

連合各国で資金を出し合い、Hi laseやELIと呼ばれる二大プロジェクトを展開。  
世界初の100J級セラミックレーザーを開発。大出力レーザー研究の牽引役となりつつある。

### 研究内容

物理学・量子学(フォトン・プラズマ等)の解明、MRI、レーザー核融合発電など



## 《主旨》

神島化学は、これまでの100年をその技術力を根底に発展しこの先も独自の技術開発を行う

これら技術力を培うベースとして100周年を記念しテクニカルセンターを建設

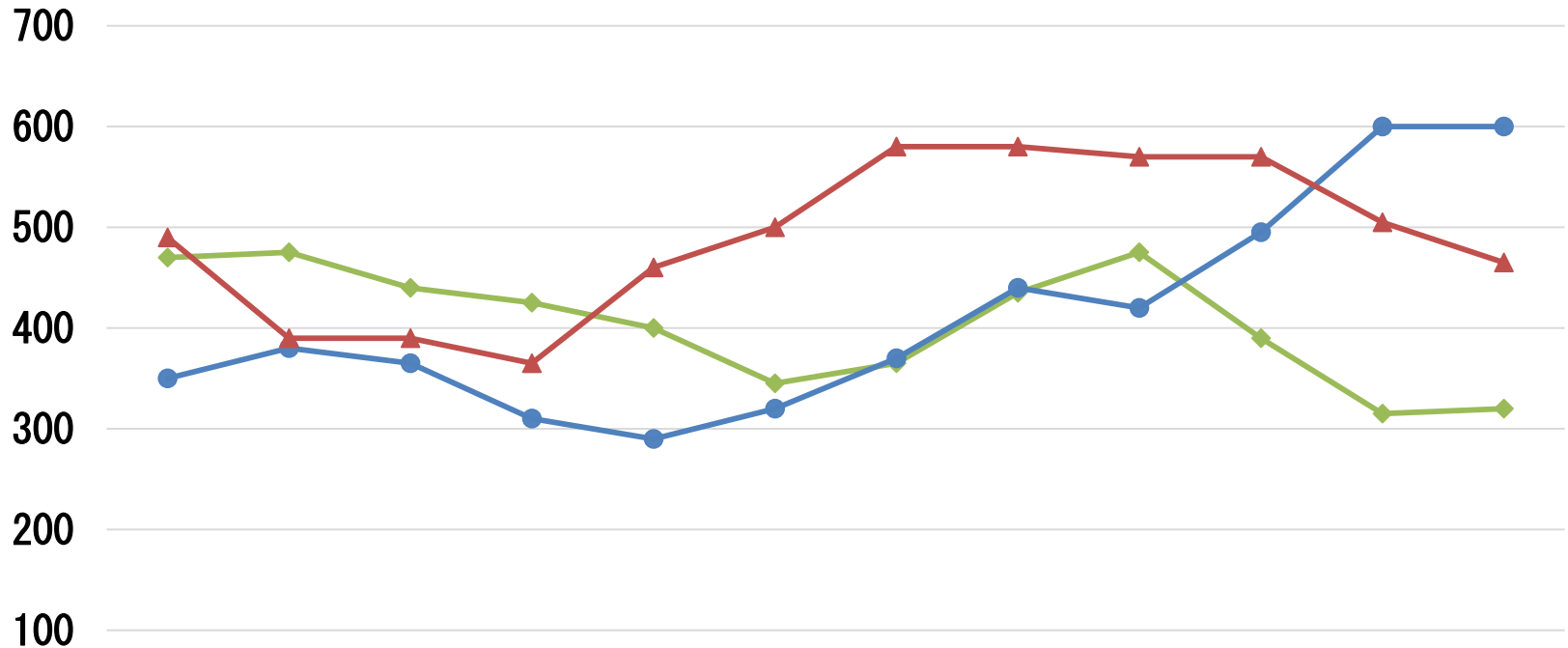
## 《方針・コンセプト》

- ① 市場要求対応
- ② 独自技術開発
- ③ 人材教育

## 《概要》

名 称	テクニカルセンター
総投資額	約12億円
完 成	2018年5月
建 設 地	香川県三豊市詫間町（第2工場）
延床面接	技術棟（3階建て）約2,400㎡ 試験場棟（1階建て）約2,000㎡

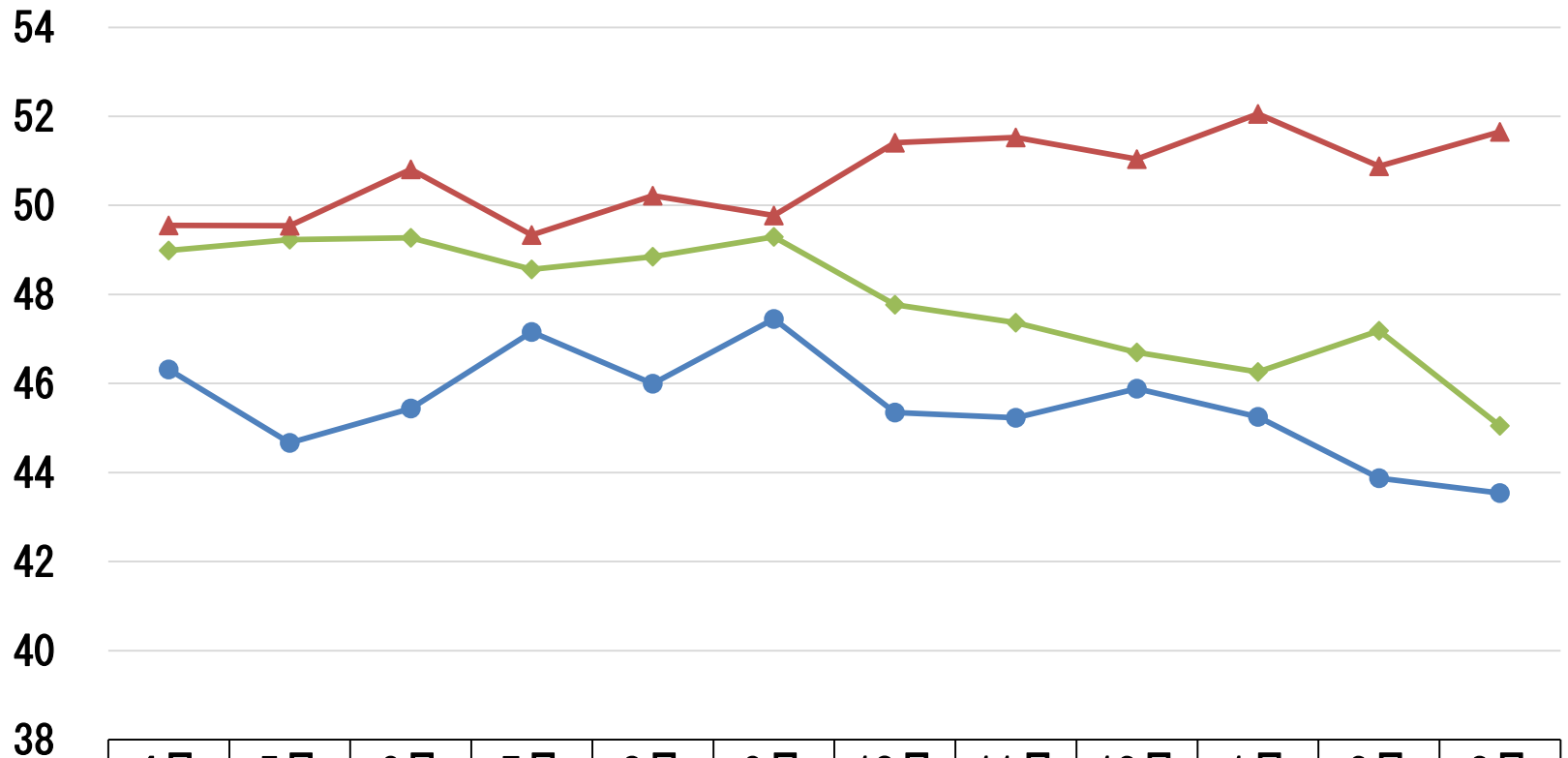
(\$/t) **ボタンCP価格の推移**



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◆平成27年度	470	475	440	425	400	345	365	435	475	390	315	320
●平成28年度	350	380	365	310	290	320	370	440	420	495	600	600
▲平成29年度	490	390	390	365	460	500	580	580	570	570	505	465

参考：サウジアラビアCP

(円/kg) 苛性ソーダ(液体97%換算・固形有姿)価格の推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◆平成27年度	48.99	49.23	49.27	48.57	48.85	49.30	47.77	47.37	46.70	46.26	47.19	45.05
●平成28年度	46.32	44.67	45.44	47.16	46.00	47.45	45.35	45.23	45.89	45.25	43.88	43.54
▲平成29年度	49.55	49.55	50.81	49.33	50.22	49.77	51.41	51.53	51.04	52.05	50.88	51.66

参考: 経済産業省生産動態統計年報

## 地球の未来のために

神島化学ではECOで社会に貢献しています。

### 建築現場での建材ゴミの軽減に

工場での建材プレカット化を推進しています。  
もちろん、カット端材は全てリサイクルしています。

### リサイクル原料の使用

神島化学の建材は3種類のリサイクル原料を使用しており、  
その割合は50%にもなります。

### パレット・緩衝材のリサイクル使用

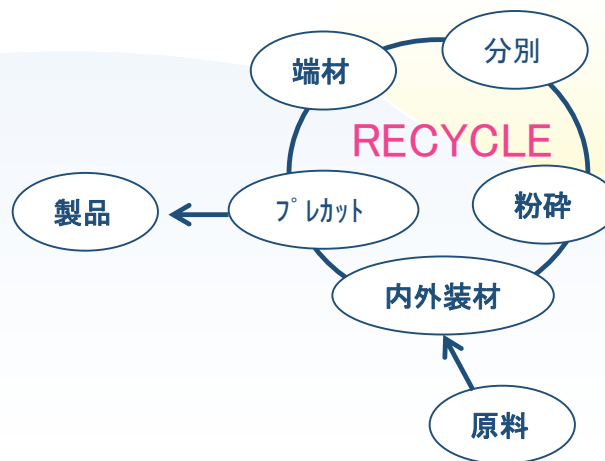
出荷したパレット・緩衝材は極力回収し、点検・補修を行った上で再使用しています。

### 住宅のメンテナンス費用を削減する建築材料

高耐久建材製品の開発に力を入れて、メンテナンス費用と回数の削減に一役買っています。

### 省エネ施工の建築材料

簡単取り付けの金具施工建材で建築現場での省エネに努めています。





©2017 Konoshima Chemical Co., Ltd.



100年の歩み、100年の挑戦